



●議員は原則2期8年で交代 ●議員報酬は市民の活動費 ●選挙はカンパとボランティアで

# つくば・市民ネットワーク議会通信

発行：つくば市議会会派 つくば・市民ネットワーク  
宇野信子・北口ひとみ・小森谷佐弥香・皆川幸枝

Tel&Fax:029-859-0264 つくば市二の宮2-1-3クラブビル1F  
tsukubahotnet@ybb.ne.jp http://tsukuba-net.jp

2020年3月

## 2019年 こんなことに取り組んでできました!!



つくば・市民ネットワークは、暮らしの中のさまざまな問題を他人まかせにせず、対話を通して解決し、すべての人が自分らしく生きられる社会をめざしています。

「暮らしはそのまま政治です」をモットーに、市民の声をまちづくりに活かしていくための代理人として、皆川ゆきえ、小森谷さやか、宇野信子、北口ひとみの4名が議員として活動を行っています。

### 皆川ゆきえ

3月 会派代表 質問	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成31年度の主要施策</li> <li>徹底した行政改革</li> <li>安心の子育て</li> <li>頼れる福祉</li> <li>誇れるまち</li> </ul>
6月 一般質問	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民主体のまちづくり</li> <li>つくば市教育大綱</li> </ul>
9月 一般質問	<ul style="list-style-type: none"> <li>不登校支援</li> <li>地域における子どもの「遊び」推進・支援</li> <li>自然保育の推進</li> </ul>
12月 一般質問	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育大綱</li> <li>学校給食における地産地消ガイドライン</li> <li>台風・豪雨時の避難</li> </ul>

### 宇野信子

3月 一般質問	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がいのある人への合理的配慮</li> <li>東海第二原発の再稼働問題</li> </ul>
6月 一般質問	<ul style="list-style-type: none"> <li>TX沿線開発地域の学校過密問題</li> </ul>
12月 一般質問	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道事業</li> <li>下水道事業</li> </ul>

### 小森谷さやか

3月 一般質問	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国語活動とAET(英語指導助手)</li> <li>統合型校務支援システムの導入</li> <li>新・放課後子ども総合プラン</li> </ul>
6月 一般質問	<ul style="list-style-type: none"> <li>子宮頸がんワクチン</li> <li>農薬の使用</li> </ul>
9月 一般質問	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の急増する学校の対応</li> </ul>
12月 一般質問	<ul style="list-style-type: none"> <li>香害に代表される化学物質過敏症への対応</li> <li>ヒトにも環境にもより安全持続可能な洗浄剤の使用</li> <li>ごみの最終処分量の減量</li> </ul>

### 北口ひとみ

3月 一般質問	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療的ケア児等の災害対策</li> <li>ごみ削減</li> </ul>
6月 一般質問	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼児教育・保育無償化</li> <li>スタートアップ</li> </ul>
9月 一般質問	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校図書館司書教諭補助員配置事業</li> <li>県立高校の中高一貫併設</li> </ul>
12月 一般質問	<ul style="list-style-type: none"> <li>ソーラーシェアリング</li> </ul>

## 新型コロナウイルス 必要な支援を

新型コロナウイルス感染症が世界中で広がっています。命を守りつつ、地域経済が止まってしまうまいよう、様々な対策が議論され、打ち出されています。

安倍首相は2月末に全国の公立学校の2週間休校を要請しました。しかし、保護者の負担が増え、医療・福祉現場など社会全体に与えるダメージが大きいことから、つくば市では家庭の状況によって自主登校を認める柔軟な対応を決断しました。

また3月市議会では、ホテル・旅館業界と飲食店に特に大きな影響が出ているとして、これらを支援する補正予算が追加提案されましたが、議会では他の業種でも影響を調査し、必要な支援を行うよう求める決議を可決しました。

3月17日にはついに茨城県内でも感染者が確認され、感染拡大や地域経済へのさらなる影響が予想されます。予防対策を徹底しつつ、しっかり情報を取り、冷静な対応を心がけましょう。

### 【新型コロナウイルス感染症に関する一般的な相談窓口】

新型コロナウイルス感染症に関する相談、感染予防に関すること、心配な症状が出たときの対応、など

#### ●茨城県庁内：受付時間 24時間対応

専用電話(直通番号) 029-301-3200

FAX番号 029-301-6341

#### ●つくば保健所：受付時間 平日 9時00分～17時00分

TEL 029-851-9287



つくば市議会議員  
総務委員会副委員長

## 小森谷 さやか

### 今年も目が離せない！ 2つの特別委員会

市民ネットの代理人となって4年目を迎えました。

市議会の様子も随分変わってきました。現在「オールつくば市議会」で進めている2つの「特別委員会」（以下“特委”）は今までに無かった動きで画期的なものです。

この2つの“特委”は、市長提案に対し市議会として熟議が必要、と立ち上げたものです。

ひとつは、つくば駅周辺のまちづくりについて話し合う「中心市街地まちづくり調査特委」と、2015年に住民投票で否決された旧総合運動公園候補地の今後について話し合う「高エネ研南側未利用地調査特委」です。

これまで、全議員が一堂に会してひとつのテーマについて議論をし、結論を導き出す、ということはありませんでしたが、“まちづくり特委”は計〇回も集まって共通理解を図り、12月には中間報告、そしてこの3月には提言をまとめることができました。そして昨年末に発足した“高エネ特委”では、真っ向から対立する意見をどうするのか、まさに議論中です。お互いの折衷案をひねり出すのか、いくつかの案に絞り込んで市民に問うのか、いやいや議員間で決を採るべきか！との声が飛び交っています。

議論とは何か、議会と市長（行政）の関係はどうあるべきか、を正に突き付けられています。

でもこれらの動きはつくば市にとって良い変化だと思っています。

今年もご注目ください！



つくば市議会議員  
都市建設委員会副委員長  
議会活性化推進特別委員長

## 宇野 信子

### 原発県民投票で 民主主義のバージョンアップを！

「住民投票は直接民主制で議会を否定するものだ」と言われることがありますが、それは違います。普段の政治は議員と首長に委ねているけれど、大事なことは住民自らが考え、話し合い、意思表示する。その経験によって、議員を選ぶ住民の意識も変わり、議会のあり方も変わっていきます。このことをつくば市議会ですでに経験済みです。

茨城県の民主主義のバージョンアップのために、今回の直接請求が一步となるよう、長い道のりを一緒に歩いていきましょう。

### 地域で暮らし続けられる まちを目指して

私は地域みなさんと共に不法投棄や交通対策、高齢福祉などにかかわる課題に取り組んで来ました。

特に、荃崎地区においては牛久駅への交通手段の確保は長年の要望でした。今年度から3年間の実証実験バスが走行し、多くの方に喜んで頂いています。他にも、これまで提案して実現・拡充した事業は以下の通りです。



つくば市議会議員  
市民経済委員会副委員長

## 皆川 ゆきえ

	これまで提案してきたこと	実現・拡充した事業
高齢化対策	公共交通の拡充	・実証実験バス（牛久駅への新路線・路線バス運賃補助） ・NPO等が行う福祉有償運送への補助
	地域で助け合う仕組みづくり	・地域包括支援センターを1か所から5か所へ ・地域での居場所づくり支援
子育て・教育	学童保育や保育園の拡充	・学童保育の公営化、小規模保育の導入
	子どもの育ちに遊びの機会を	・プレイパークの設置
	一人一人の育ち、学び重視の教育	・教育大綱の制定にもり込まれた ・施設一体型小中一貫校の方針見直し

地域で暮らし続けられるまちづくりには、まだまだ課題が山積みです。今後も地域みなさんと一緒に取り組んでいきます。



## 暮らしの中から まちづくり

つくば・市民ネットワークは  
これからもがんばります

今、東海第二原発の再稼働の賛否を問う県民投票条例の直接請求活動が行われています。県内44市町村で2か月間の署名集めが行われ、つくば市では3月6日までの署名期間に11,252人の署名が集まりました。茨城県全体では8万人を超える署名数となっています。

原発県民投票の運動は、地元茨城にある原発の再稼働の是非を、知事や県議会にお任せにしないで、主権者である自分たちが意思表示しよう、というアクションです。志ある市民が賛同する人々を掘り起こし、つながることで、この運動は広がっています。組織の立ち上げ、受任者募集、条例案の検討、署名集め、提出までの事務作業と、地道な活動が続けられてきました。

選挙があつて遅れた市町村の署名活動が4月初旬まで続きます。署名が最終的にどれだけ集まるのか、その署名を知事や県議会議員はどう判断し、どんな議論が行われるのか、全県民の注目が集まります。

「住民投票は直接民主制で議会を否定するものだ」と言われることがありますが、それは違います。普段の政治は議員と首長に委ねているけれど、大事なことは住民自らが考え、話し合い、意思表示する。その経験によって、議員を選ぶ住民の意識も変わり、議会のあり方も変わっていきます。このことをつくば市議会ですでに経験済みです。

茨城県の民主主義のバージョンアップのために、今回の直接請求が一步となるよう、長い道のりを一緒に歩いていきましょう。

市民ネットへは、市政に関する様々な相談が寄せられます。市政に関する問題や税金に対する指摘もあり、市民ネットでは議員だけが取り組むのではなく、テーマ別で活動している部会で調査研究したり、4人の議員を含む運営委員会で情報共有・協議検討を重ねています。そして「一般質問」には、限られた時間内に問題点の明確化や改善策の提案を行えるよう事前に周到な準備と合意形成をして臨んでいます。

また、つくば市議会には議案を専門的に審議するため4つの常任委員会を設置しています。市民ネットの4人の議員は各委員会に所属し、「市民の代弁者」として参加しています。

身近な問題から県政・国政まで多岐にわたりますが、行政が行うことは全て私たちの生活に密着しています。一言でいうと「どこに私たちの税金は使われるべきか」ということになるのでしょうか。「人」なのか「設備」なのか「制度やしきみ」なのか…これからも、現場の声を十分聴き、住民や行政をつなぎ（ネットワークし）ながら課題解決を図っていきます。



### 市民の代弁者として



つくば市議会議員  
議会運営委員長  
文教福祉委員

## 北口 ひとみ